Consulting Firm 01

# アースアンドヒューマンコーポレーション

エチオピアのロープポンプ製造研修で（中央が北詰さん）

Earth & Human Corporation

事業部第一課
主任研究員
**北詰 秋乃さん**
〈49歳〉
Kitazume Akino

## 仕事も子育てもあきらめない

大学で社会福祉を専攻し、いわゆる社会的弱者といわれる障害者・障害児の支援サークルの活動を手伝っていました。その時、社会にはさまざまなハンディを負った人たちがいて、それ故に楽しいことが楽しくなかったり、身体が不自由であること以上に生きることが不自由であったり、「目に見えない障壁が社会の至るところにあるんだな」と肌で感じました。この皮膚感覚が、恐らく開発コンサルタントという現在の職業につながっていると思います。

国際協力のキャリアの第一歩は1990年代、大学卒業と同時にボランティアとして飛び込んだインドシナ難民支援のNGOです。タイの難民キャンプに派遣され、日本への定住が決まっていた方々を相手に、基本的な日本語の指導に取り組みました。

その団体の専従スタッフになって、ラオス事務所、東京本部、さらにエチオピア現地代表として活動を続け、エチオピアでは農村開発プロジェクトに従事しました。一連のNGO活動を通して、難民や住民と同じ目線に立ち、上から指導するのではなく一緒に考え解決策を模索していくという行動様式が身に付いたと思います。エチオピア赴任中に現地の男性と結婚し、出産を機にNGOを退職して、向こうで子育てしながら簡単な調査業務などを請け負っていたのですが、「子育ても楽しいが、これまでの仕事から遠ざかってしまう自分はものすごく寂しい。どちらもあきらめたくない」という思いが膨らみました。そこで自分の専門性を高める狙いもあって、英国の大学院に子連れ留学することを決心したのです。それは、まるで目を閉じてバンジージャンプするような感じでした。

帰国して本格的な就職活動を始めましたが、子育てと仕事の両立になかなか理解を得られない中、私が置かれている状況や家庭の事情を理解したうえで受け入れてくれたのが現在の会社です。入社後はセネガル、マリ、マラウイの農村開発や地方給水案件などに参画し、現在は再びエチオピアの地方給水・衛生改善プロジェクトに総括として従事しています。総括の仕事はほとんどがトラブルシューティングですが、留意しているのは対話と思いやりです。今後も仕事と家庭の両立に向けて全力で取り組んでいきます。



## Check

### 「住民の視点」にこだわり続けて20年

村落開発や農業開発、環境、教育、保健分野などを主体に「地域住民の視点」を大切にしながらコンサルティング・サービスを提供するアースアンドヒューマンコーポレーション。得意とする西アフリカを中心に地道に実績を積み上げ、今年、設立20年の大きな節目を迎えた。地域的には近年、中東や中南米などにも領域を広げ、開発コンサルティング企業としての基盤を強固にしている。

設立者のひとり、深井善雄代表取締役は「緑の推進プロジェクト」のメンバーとして、セネガルに派遣された青年海外協力隊OBである。同社設立後は、そのような縁もあって西アフリカ諸国で活動した協力隊OB・OGが同社に参集し、社員の半数以上を占めるという個性あふれる社風がある。

深井代表は常日頃から社員らに「ミドルダウン・ミドルアップ」という考え方を提示している。地域住民の末端まで入り込み、住民の本音とニーズを徹底的にくみ上げる。同時に政府やドナーの政策方針を把握し、双方のマッチングを図り、資金が足りなければ新しいドナーにつないでいく。近年では政府開発援助（ODA）に加え、日本の大手商社とセネガルの生産者を橋渡ししてビジネスの"芽"を育て、官民連携事業にも注力している。

### company data

株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション
Earth and Human Corporation
〒194-0041 東京都町田市玉川学園前8-3-23
設立：1996年5月　資本金：1,000万円
従業員数：22人（2016年4月現在）
代表者：代表取締役　深井善雄
事業分野：国際協力コンサルティング業務（村落開発、農業開発、植林、教育、保健、環境など）

### recruitment

新卒採用：なし　中途採用:あり（不定期）
募集職種：開発コンサルタント
募集人数：若干名

TEL：042-710-7661　FAX：042-710-7665
E-mail：ehcjapan@ehcjp.com
URL：http://sites.ehcjp.com/ehcjphome/

### Career Path

- Age 22：大学卒業後、日本国際ボランティアセンター（JVC）に参加
- 27：JVCエチオピア現地代表として農村開発プロジェクトを実施。現地滞在中にエチオピア人男性と結婚・出産
- 30：JVCを退職。英国ウェールズ大学スウォンジー校（現スウォンジー大学）大学院で修士号（社会開発）取得
- 34：アースアンドヒューマンコーポレーション入社
- 46：エチオピアの「飲料水用ロープポンプの普及による地方給水衛生・生活改善プロジェクト」に総括として従事